

整形外科

概要

部長：安田 義

スタッフ：7名

専攻医：6名

当院の整形外科診療は、外傷は勿論のこと、股関節・膝関節外科、人工関節置換術、リウマチ外科、脊椎外科、手の外科(マイクロサージャリー)、スポーツ整形にそれぞれ専門スタッフを揃え、いつでもどのような疾患・外傷に対しても対応できる体制を取っております。当病院は3次救急に対応しておりますので、多発外傷、脊椎損傷、切断肢、重症感染症などの症例も多く、研修病院として最適であると思われれます。

2021年の手術実績は、人工股関節(再置換術を含む)97、人工膝関節(再置換術、単顆置換術を含む)46、脊椎外科214、手の外科92、再接着27、四肢の骨折499、手術総数は1,458でした。

救命救急センターの指定以来、多発骨折や脊椎損傷、切断肢の症例が増加しています。救急部、麻酔科、外科など他科との連携が密であるために初期治療のコンサルトがスムーズであり、整形外科治療に専念できる環境にあります。また、人工関節を主とした関節外科、変性疾患だけでなく脊椎損傷も対象とした脊椎外科、切断肢の再接着や組織移植を含む手の外科、リウマチ外科、スポーツ整形、それぞれに対して専門のスタッフを揃えており、充実した内容で研修を修了していただけます。

特徴

7名のスタッフが日本整形外科学会専門医の資格を有している。日本リウマチ学会認定指導医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本脊椎脊髄病学会指導医、日本手外科学会専門医もいる。

- 1) 日本整形外科学会教育研修認定施設
- 2) 日本リウマチ学会教育研修認定施設
- 3) 日本手外科学会教育研修認定施設

一般目標

骨折・外傷に関して、数多くの症例を経験し、幅広い対応能力を習得する。整形外科全般に関して、整形外科専門医としての診察能力を身につける。

基本的に救急も含めて、外来診察→入院・手術→外来フォローを行い、一人一人の患者について指導を受けながら診療担当開始時から一貫した治療に当たる。出来得る限り、指導医のもとで手術執刀を行う。担当症例を大切に、そこから整形外科の基本的知識、

診察・検査手技、手術を含む治療手技を学び、今後整形外科専門医となるための症例を蓄積することを期待する。

行動目標

- 1年目：**
1. 整形外科疾患の初期対応、手術基本手技を習得する。
 2. 患者、家族との良好な信頼関係を築き、病歴聴取と病状、治療計画の説明ができる。
 3. 効率的な診察、検査からの正確な診断と有効な治療計画を立てることができる。
 4. メディカルスタッフ、看護師、医師との緊密な協力のもとに最前の医療を提供できる。
 5. 当直業務、外来業務に入る。
- 2年目：**
1. 初期治療に習熟する。
 2. レントゲン、MR、CT等の検査指示、読影能力をつける。
 3. 後輩医師を指導できる。学会発表、論文作成を行う。
- 3、4年目：**
1. 整形外科専門医認定取得を準備する。
 2. 四肢外傷の救急措置が可能となる。
 3. 骨折の観血的整復術や人工骨頭、（単純な）人工関節等の整形外科的手術を執刀医として行うことができる。
 4. 関節鏡その他整形外科的検査手技に習熟すると共に所見についても判断できる。

週間スケジュール

	AM	PM
月	外 来	手 術
火	外 来 (8:00 回 診)	〔 午後は検査、ギプス外来・装具外来 5:00 術前・術後カンファレンス 〕
水	外 来 (8:00 抄読会) 外来手術	
木	外 来	手 術
金	外 来	(午後は検査、ギプス外来・装具外来)

専門研修プログラム

当院が基幹病院となって、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神鋼記念病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、公立豊岡病院組合立豊岡病院、姫

路医療センター、北野病院、関西電力病院、大阪府済生会野江病院、京都大学を連携施設として、神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラムを提供しています。詳細は当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

安 田 義 : tadyasu@kcho.jp